



医療でも、働き方改革が必要です。



当院は、働き方改革に取り組みます。

2019.12.29 改訂 2 版

開院から 3 年間たち、おかげさまで多くの患者様に認知していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。医療事務・看護師スタッフも増えましたが、スペースと医師（1～多くても 2 人体制）より、キャパシティを超える患者様がお越しになることも多くなりました。時間で受付終了を短縮して区切ったとしても、受付したあと待ち時間が数時間になることもしばしばあり、診療時間より大幅に遅くなってしまうことも多々あります。患者様にも、ご迷惑をおかけするとともに、スタッフ・医師にも働き方改革が必要な時がきました。また昨今の、働き方改革も叫ばれる時代となり、医療業界も例外ではありません。



通常の①乳腺以外の診察の予約の枠を少し絞り、②予約外の i チケットの患者さんの健康状態を改善すること、そしてスタッフと医師の健康も確保する観点から i チケット診療の終了を予測しつつ、人数をある程度制限させていただくことで、バランスを取り、細く長くこの地で医療を営みながら、地域医療を育てていきたいと考えております。

(例) 一人体制の日曜日とある例ですと・・・(あくまでとある日の院長のペースです)

i チケット (1 診の例) : 診療内容に時間の予測は困難です・i チケットで進行状況確認を!

5 番目くらいまで : AM 中 (9~11 時くらい)

5~10 番目 (11~13 時くらい)

10~15 番 (12~15 時くらい)

15~20 番 (14 時~16 時くらい) →AM 診療予定でもすでに夕方になる可能性あり。

このため、混み合う日には、③i チケットの予定数制限を導入しております。この点に関して、御理解・御協力をお願いします。休日診療などにおいては、手がかりがない方などは、近隣の(救急など)医療機関を御案内させていただくなど、なるべく適切な医療が行き届くようこれからも努力をする所存です。今後とも何卒よろしくお願い致します。

医療法人社団 ITOKC 理事長・いとう王子神谷内科外科クリニック初代院長 伊藤博道